

## ペガサス大阪南看護学校(仮称)オープンキャンパス

TOPICS  
3 オープンキャンパスに多くの参加者血圧測定などの看護技術体験や  
ユニフォーム試着コーナーなど好評。

魅力的なプログラム満載のペガサス大阪南看護学校(仮称)のオープンキャンパスを開き、たくさんの方が参加されました。初めてのオープンキャンパス開催がコロナ禍という状況で、感染防止対策を徹底しました。来校の際に看護師による検温と手指消毒、校内では数グループに分けて行動、使用した椅子等は人が入れ替わるとに消毒するなど、病院と同レベルの感染防止対策を行った上での開催でした。

密を避けるため7月開催(2回)は参加人数を制限し、8月(2回)は参加人数を増やしてより多くの方が参加できるようにしました。参加人数は、各回23名~42名(保護者除く)



で、4分の1が社会人でした。血圧測定や聴診などの看護技術体験、ユニフォーム試着では、将来看護師になった姿を想像でき大変好評でした。

学校説明では、急性期から訪問看護・在宅療養まで幅広い領域の看護を学ぶことや、それぞれの現場で活躍する看護師から実践に基づいた教育を受けられることなど、ペガサスが運営する看護学校の魅力を伝えられたと思います。参加者の皆様ならびにご協力頂いた皆様、ありがとうございました。来年の4月には多くの参加者とお会いできますことを楽しみにしております。

ペガサス健診センターの  
ご案内

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、適切な診断を提供しています。  
一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。  
お問い合わせ/072-265-6006



## ペガサス地域包括ケアセンター

場所:馬場記念病院 総合案内横  
時間:平日9時30分~12時まで  
健康のことから在宅介護まで。多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ/TEL:072-265-5558(担当 斎藤)

「なんでも相談」  
窓口あります

ペガサスグループ  
株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは  
150種類以上。  
大幅な値下げも  
実施中です。



●お問い合わせ  
TEL:0120-062-505

## 私たちと一緒に働きましょう。

随時受付  
しています

## 介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

## 障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり  
業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃  
D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ/馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089

社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ  
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

## ペガサスマンモサデー

## 開催予定

【開催日】(予定)

10月18日(日)

【開催時間】

9時~17時

【お問い合わせ】

TEL:072-265-6006  
(ペガサス健診センター)

PEGASUS  
NEWS

## ペガサスニュース

発行人/馬場武彦  
発行/社会医療法人ペガサス  
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244  
<http://www.pegasasu.or.jp/>  
編集/ペガサス広報委員会 編集グループ  
編集協力/HIPコーポレーション  
発行/令和2年10月1日

Vol.93

## ペガサスから地域の皆さまへ

馬場記念病院勉強会を開催しました。

会場+WEBセミナー形式で、馬場記念病院の医師が  
多様な演題で講演を行いました。

## ●初めてのWEBセミナー形式を導入

2020年9月3日に第62回馬場記念病院勉強会を開催しました。当初は6月の予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止しました。しかし、「地域医療のための連携強化の取り組みを止めるわけにはいかない」という強い職員の思いがあり、今回初めての試みであるWEBセミナー形式を取り入れ、会場参加と共に多様な参加形式を工夫しました。会場では検温や手指消毒、ソーシャルディスタンスを保った席順などについて配慮しました。

## ●WEB視聴だから参加できたとの声

いつもは15名ほどの医師が勉強会に参加されています。今回は、これまで参加したくても来院が不可能だった診療所の医師が、「WEBで視聴できるなら」ということで初めてご参加頂きました。諸事情で来院できなくても参加できる勉強会の必要性を実感したご意見でした。

呼吸器科・部長の高村先生の「新型コロナウイルス・パンデミック下の肺炎~COVID-19PCR検査施行例の症例報告~」というタイムリーな講演があり、先生方の関心も高く全体的に好評を頂きました。

## ●より魅力的な勉強会でより強い連携を

この勉強会は、自分たちのナレッジを地域で共有することで、地域全体の医療の質の向上を目指しています。地域医療支援室が運営し、普段は電話やFAXでのやり取りが多い診療所の医師との「顔の見える連携」を構築し、病診連携の強化を図ることを目的としています。

今後も多くの医師にご参加頂き、より連携を強化したいと考えています。各診療科の医師とも協力して興味深い演題テーマを設定し、WEBセミナー形式も継続して魅力的な勉強会を開催していきたいと思っております。

## 第62回馬場記念病院勉強会

◆日時 令和2年9月3日 木曜日  
◆場所 馬場記念病院 南館2F会議室

演題①「新型コロナウイルス・パンデミック下の肺炎  
~COVID-19PCR検査施行例の症例報告~」

呼吸器科 部長 高村 竜一郎

演題②「地域連携バスの運用実績」

リハビリテーション科 副院長 西尾 俊嗣

演題③「当院における心不全に対する集学的治療について」  
循環器科 桑木 恒

演題④「当院における乳癌健診と治療について」  
外科 木下 春人

令和2年度 赴任医師紹介

第3弾

## 新しく外科、神経内科、消化器科に赴任した4人の医師の紹介

新型コロナウイルスが流行し、患者さまの不安が増す中、当院では全スタッフが感染防止対策を行いながら全力で診療にあたっています。その中で当院に新しく赴任し、日々診療に尽力している医師を紹介します。今回は、腹腔鏡手術に力を入れている外科、難病の患者さまも多く訪れる神経内科、内視鏡治療に力を入れている消化器科に配属された医師4名です。それぞれの診療科で力を発揮し、地域の医療を支えられるように努力します。

■ 名村 仁志 / 神経内科

**一人ひとりの患者さまに親身に寄り添い診療にあたります。**

神経内科の疾患は、原因が不明だったり治療法がまだ確立されていないことが多いものです。しかし、日々の診察では患者さまに病状や最適な治療について理解して頂けるように努力しています。親身になって診療にあたり、一緒に患者さまの今後の人生について考えていきたいと思っています。まだまだ経験は浅いですが、日々精進して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。



■ 山本 一輝 / 消化器科

**コミュニケーションを大切に丁寧な診療を心がけています。**

私は、内視鏡検査を得意としています。消化器科の医師としてはまだまだ未熟ではありますが、患者さまやご家族とのコミュニケーション大切にして、丁寧な診療を行うことを心がけています。病院のスタッフや地域の先生方と共に、患者さまやご家族にとってより良い医療を提供できますように、日々研鑽を積んでいきたいと思っています。



■ 中川 泰生 / 外科

**わかりやすく説明し患者さまに最適な治療を提供します。**

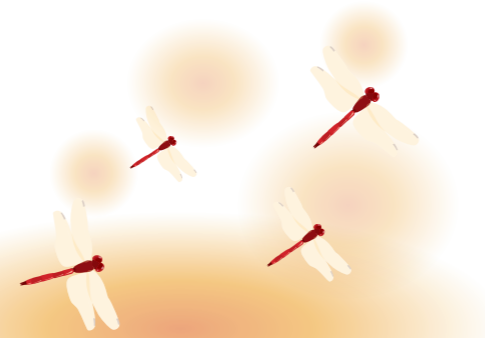
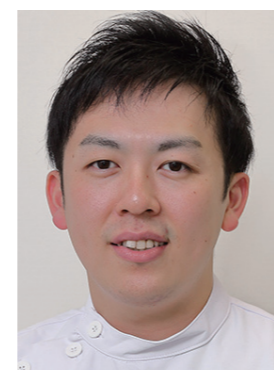
私は、腹部・消化器全般の診療を得意としており、日々の診療にあたっています。医学の各分野は日々進歩しています。日々の診療の中では、最新のガイドラインに則って患者さまに病状や治療について、分かりやすい説明を行うことを心がけております。患者さま一人ひとりに最適な治療が提供できますように、自分自身も努力していきたいと考えています。



■ 佐久間 崇 / 外科

**患者さまとの信頼関係を大切に丁寧な診療を目指します。**

私は、診療の中で患者さまとの信頼関係の構築を大切にしています。患者さまに分かりやすく説明し、正しく丁寧な医療を提供できるよう心がけております。そのためにもチーム医療、つまり一体化した診療が実現できるように努めていきたいと考えています。外科医としてまだ未熟ですが、患者さまファーストの体制で診療に取り組み、同時にジェネラリストを目標に最善の医療を提供できるよう尽力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



コロナ対策の強化継続中①

TOPICS

### 1 顔認証型検温システムを導入

**安全な体温測定のため新システムを導入！  
まだまだコロナ対策を強化中です。**

新型コロナウイルス感染が問題となり半年以上経過し、感染のピークは過ぎたと言われています。当院では感染防止対策のため、現在もすべての面会をお断りしている状態です。患者さまやご家族の皆さまにはご迷惑をおかけしています。これまでは正面玄関で全ての来院者に対し、看護師が非接触型体温計で検温をしていました。より安全に行うため、7月10日より顔認証型検温システム2台を導入しました。このシステムは、スマートフォンよりひと回り大



コロナ対策の強化継続中②

TOPICS

### 2 フェイスシールドで感染対策

**GARO〈作業所雅老〉でフェイスシールドを制作し馬場記念病院などに提供。**

GARO〈作業所雅老〉では、馬場記念病院からの依頼でフェイスシールドを制作しました。4月に緊急事態宣言が出され、病院内のフェイスシールドが不足したため相談を受けたことがきっかけです。普段のGAROでは、まつ毛カーラーの袋詰め、子供用糊にフィルムカバーを被せる作業など外部企業から依頼を受けています。透明フィルムや頭に固定するゴム、クリップなど簡単に入手できる材料で作るように工夫し、病院の施設用度課の協力を得ました。



#### 【GARO〈作業所雅老〉とは】

GAROは、ペガサスの関連法人の社会福祉法人風の馬に属し、就労継続支援B型事業所と言われる、障害福祉サービスを提供する施設です。病気で障害を持った一般企業での就労が難しい方が利用し、社会活動に参加する機会を提供するための作業所です。生きがいややりがいを求めている利用者さんや、いずれは職場復帰したいという思いがある利用者さんを支援しています。定員30名で、常時25名前後の方が利用されています。



きなモニターに顔を近づけると自動的に検温が可能です。高さを変えて大人や子ども、車椅子の方でも顔認証ができるようになっています。システム

導入後も正面玄関にはスタッフが待機し、諸事情で顔認証検温システムが使えない方に検温を行っています。

現状ではまだ気を許すことはできません。地域、患者さまやご家族、職員を守るために新型コロナウイルス感染防止対策の強化を続けます。来院される方にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

